

名大で開発途上国の森林保全と地球温暖化の関連を学ぶ  
生型社会づくりに関する問題の理解

### 日本マレーシア協会の活動報告



森嶋 彰  
(日本マレーシア協会相談役、  
広島修道大学名誉教授)

### Ⅱ 特別シリーズⅡ

科学技術  
振興機構 『さくらサイエンスプラン』友情と感激

第74回

公益社団法人日本マレーシア協会は、1995年からマレーシア・サラワク州サマラン管区スリアン地区アベン地域において、サラワク州森林局、スリアン郡役所、国立マレーシア・サラワク大学の協力を得ながら、地区に居住する先住民とともに、在来種であるフタバガキ科の植林による熱帯雨林再生活動を続け、これまでに約900haで約40万本の植林をしました。

当地区は、豊かな熱帯雨林の伐採跡地に自生した2次林を州政府が保護林に指定した地域ですが、近年のヤシ油価格の高騰による農地開発のための違法な森林伐採や周辺地域での不法な開発が続いています。そのため、持続可能な地域社会づくりを目指す長期的な視点に立った賢明な森林の利用と土地開発のために、地域住民が環境保全への理解と知識を持ち、行動の改善を図るための環境教育・普及活動が重要であると同時に自主的に行動することが求められます。

10/23(日)	オリエンテーション
10/24(月)	林野庁にて日本の森林の現状と歴史の研修 名古屋大学にて教育研究概要と留学生受入れ
10/25(火)	王子製紙(株)春日井工場見学と研修
10/26(水)	国立研究開発法人国際農林水産業研究センターにて熱帯林研究の講義
10/27(木)	宇都宮大学にて森林管理実習・森林科学講義・研究環境・留学生受入れ
10/28(金)	芝浦工業大学にて教育研究概要と留学生受入れ
10/29(土)	日本科学未来館見学と板橋区熱帯林博物館
10/30(日)	研修報告会
10/31(月)	環境省にて地球温暖化と対策の講義および修了式

016年度は「森林科学」をテーマに実施しましたが、この取り組みは、当協会にとりましてもこれまでの活動を振り返り、今後の活動をより意義あるものとする貴重な機会となりました。

貴重な資源であり、地球の気候変動にも大きく関わっているボルネオの熱帯森林は急速に消失に向かっています。そのような中で一部には不法伐採も続いており、その対応が急がれています。

本事業はこの分野の教育をしている国立サラワク大学の資源科学技術学部と大学院生が森林マネジメントの必要性を理解し、日本の政府・企業・大学での取組みを知ることにより、日本の森林科学教育を理解して日本に留学を志すことを目的に実施しました。オリエンテーションで基礎的な知識を学んだ後

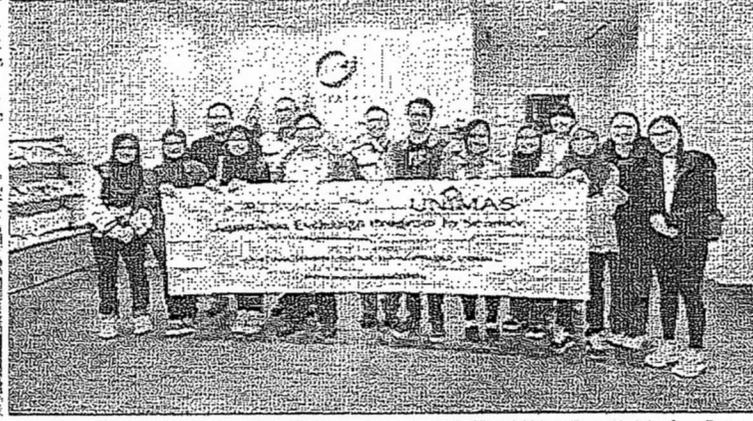
- ① 林野庁で日本の森林管理と保全の歴史についての研修を受け
- ② 名古屋大学で開発途上国の森林保全と地球温暖化の関連を学ぶとともに留学環境のレクチャーを受け
- ③ 王子製紙株式会社の事業内容と社有林の

くりに必要な能力を有する人材を育成する活動に取り組んできました。そのような折に、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の支援を受けて、サラワク大学の学生たちを日本に招聘して「さくらサイエンスプラン」を実施する機会を得、今年度で3年目になりました。

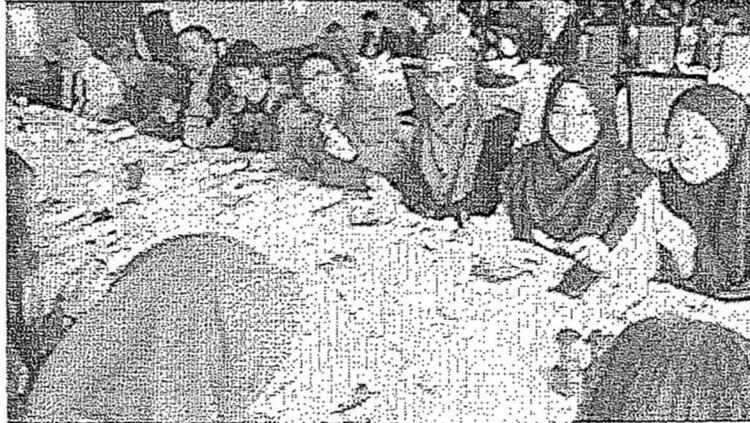




国際農林水産業研究センターで熱帯林の研究の現状と課題を学ぶ



王子製紙㈱の森林管理・廃材等を原料にした世界最大規模の製紙工場での研修プログラム



研修報告会・修了式とお別れ昼食会



宇都宮大学の演習林で森林管理の実習体験

森林管理および有効に活用している廃材などを原料にした世界最大規模の製紙工場での研修プログラムを実施し

④ 国立研究開発法人国際農林水産業研究センターで熱帯林の研究の現状と課題について学び

⑤ 宇都宮大学の演習林で森林管理の実習体験をした後、大学で森林科学教育と研究環境および留学環境のレクチュアールを受けて学生との交流をした。

⑥ 連携協定締結校の芝浦工業大学の研究環境や留学環境のレクチュアールを受けた。

⑦ 環境省地球環境局で地球温暖化問題の現状と対策および国際的取り組みについて学び

⑧ 日本の科学技術の全体像を理解することを目的に日本科学技術未来館を見学。そのまゝとめとして、日本の大学生やマレーシアからの留学生、大学関係者の参加を得て、研修の課題報告と意見交換を行う。

⑨ 研修のまとめに研修報告会と修了式およびお別れ昼食会を開催した。学生たちは、初めて見た日本の美しさと人の優しさ感動するとともに、研修先で受けた講義の内容に大きな刺激を受け、これからの学びや研究の参考になるとの報告をしていた。

研修終了時に、アンケートの提出を求めました。その概要は以下のとおりでした。

- ・日本の進んだ文化と科学技術に大きな驚きを覚えた。この日本の経験が今後のマレーシアの発展に生かすべきと思った。
- ・今回受けた研修は、これからの自分の人生に大きな影響を与えると思う。
- ・まずは、今後の研究テーマ設定に大きく影響すると思う。
- ・もっと多くの時間をかけて日本について学びたい。
- ・大学院へ進学する時は、日本の大学に進学することも検討したい。
- ・さくらサイエンス事業には、大きな意義を感じるのでいつまでも続いてほしい。
- ・このような機会を与えていただいた日本の皆さんに心からお礼を申し上げます。